

VI 空き家状況について

金ケ崎町では、平成26年度に消防団及び自治会長の協力のもと地域の空き家と思われる物件について報告をいただき所有者調査などを行いました。

平成27年度には、利活用が可能な空き家の発掘を目的に「空き家利活用等調査事業」として外観目視による空き家等の実態調査を実施しました。

1 調査概要

調査は、一級建築士の立ち合いのもと次の項目について行いました。

(1) 建物の破損状態、設備の有無など

- ア 基礎、土台、柱、はりの状態確認による構造の確認
- イ 窓の破損状況
- ウ 屋根の腐食、傾き
- エ 外壁の剥離、ゆがみ
- オ 侵入防止措置等が取られているか
- カ 電気配線、ガスボンベ、燃料タンクの有無

(2) 景観、衛生上の状態

- ア けもの類、昆虫の大量発生の有無
- イ 異臭の有無

(3) 防犯、防災上の状態

- ア 窓や扉が壊れていて侵入が可能かどうか
- イ 敷地内の危険物・可燃物があるかの有無
- ウ 近隣住民等への確認による過去の侵入者情報

(4) 周辺環境

- ア 近隣の教育施設、公共施設、道路、鉄道状況の確認

2 調査結果

■町内空き家等は192件

■このうち利活用が可能と思われるものは88件（約45.8%）

（内訳）

（1）利活用可能	33件（約17.2%）
（2）簡易な修繕で利活用可能	55件（約28.6%）
（3）大規模な修繕が必要である	69件（約35.9%）
（4）利活用不可能	35件（約18.2%）